

風しんの流行は、 突然やってきます。

1976年

1982年

1987年

1992年

2012年

2018年

20??年

次は、今年かもしれません。

対象者の42歳～59歳の男性に、風しんの抗体検査と
予防接種のクーポンをお送りしています。

次の流行を起こさないために、
そして、あなたと、周りの人の安心のために。
少しでも早い検査と接種に、ご協力ください！



クーポンが届いたら、 風しんの抗体検査・予防接種を！

風しんとは

- 風しんは、感染者の咳やくしゃみ、会話などで飛び散るしぶき（飛沫）を吸い込んで感染します。小児は発熱、発疹、首や耳の後のリンパ節が腫れて数日で治ります。まれに高熱や脳炎になって入院することがあります。成人は高熱・発疹の長期化や関節痛など重症化の可能性があります。

先天性風しん症候群とは

- 妊娠初期（20週以前）に風しんに感染すると、赤ちゃんが先天性心疾患・白内障・難聴を特徴とする先天性風しん症候群をもって生まれてくる可能性が高くなります。

対象者は風しんの抗体検査 及び予防接種が原則無料となります！

- 1962年4月2日から1979年4月1日までに生まれた男性は過去に公的に予防接種が行われていないため、自分が風しんにかかり、家族や周囲の人たちに広げてしまうおそれがあります。
- まずは、風しんへの抵抗力を確認するため、抗体検査を受けましょう。
- 1962年4月2日から1979年4月1日までに生まれた男性にお住まいの市区町村からクーポン券が届きますので、クーポン券に従って抗体検査を受けて下さい。
- なお2021年度までのクーポン券が送付されない・届いていない・紛失した対象者も市区町村に希望すればクーポン券が発行され、抗体検査を受けられます。

